

第3章 計画内容の検討及び設定

3-1 再生整備コンセプトの設定

本公園における再生整備コンセプトの策定にあたり、各上位関連計画や、現況、問題点、要望等から現在の本公園に必要だと思われる施策を抜粋し、コンセプトの設定を行った。次頁にその詳細を示す。

<上位関連計画より>

■第5次日進市総合計画

【将来都市像】

『いつまでも暮らしやすい みどりの住環境都市』

今日の活力やにぎわいを持続的に発展させていくためには、**真の豊かさ**と幸せ、安心が実感できるまちづくりを進めていく必要がある。

そのために、**豊かな自然と調和**した魅力あふれる住環境都市を目指す。

【重点プロジェクト】

- 充実した子育て環境づくり

(例: 安全な公園や広場、身近に**自然体験ができる緑地**や水辺等の整備等)

- 健康長寿社会形成

(例: 公園に介護予防遊具等の設置、**運動体力づくり**、健康ウォーキングの普及等)

【部門別計画】

- 子育て・健康長寿を支えるまちづくり

(例: **子どもを安心して育てることができる環境**づくり、市民の健康づくり等)

- 安全・安心で自然と共生した暮らしの実現

(例: 緑地や水辺の保全・活用により、**自然環境と共生したまち**の実現に努める)

- 次代を担う人を育み、生涯学び続けられる環境づくり

(例: 全ての市民が**スポーツを身近に親しむ**ことができる場づくり)

⇒豊かな自然と調和した都市形成のため、

市民の方々が安全・安心に憩える場としての公園づくり

⇒子どもが健やかに育つ環境整備として、

スポーツを身近に親しむことができる公園づくり

⇒健康長寿社会形成のため、高齢者の健康づくりを支える施設整備

■日進市緑の基本計画

【テーマ】

水と緑を巡りながら、人ととの交流も育まれる”水と緑が織り成すふるさと日進”

【基本方針】

- 緑豊かな樹林地と希少な樹林地の保全と育成

(→樹林地をレクリエーションや**環境学習の場**として保全し活用)

- 憩いと快適、安全、安心な心地良い市街地の緑の育成

(→既設の老朽化した公園を、地域の人と協働による公園づくりにより利用を促進)

【基本施策】

- 緑の景観の保全

(→東部の丘陵地や御嶽山等のまとまりのある樹林地は**豊かな自然景観**を有しており、**将来にわたり引き継ぐべき景観**として保全を図る。)

- 都市公園等の整備

(→身近な公園を再整備する際は、計画段階から地域住民との協働により、地域のニーズに合った公園整備を進める。また、既設公園の改修時には、**花や実、野原**等、利用者にとって魅力的で、心癒される公園整備となるように努める。**ブレリーダーの養成**を図り、公園内で木工や伝承遊び等を伝え、魅力ある公園の場づくりを進める。)

- 緑に関する情報提供

(→環境学習の普及により**身近な自然環境・地域資源**等への市民の関心を高める。)

⇒緑豊かな樹林地をレクリエーションや**環境学習の場**として活かした、安全で安心な心癒される公園づくり

■日進市都市マスターplan

【理念】

農地や緑地をはじめとする豊かな自然を守り・育みつつ、「ベッドタウン」から多様な世代が暮らし続けることのできる「生活環境が豊かで充実した都市」へと再構築を進める

【基本目標】

○農業振興・**緑地保全と調和**した集約的・効率的な土地利用の実現

【地域別構想(相野山地域)】

○高齢者人口割合が最も高い地域

○森林保全地区

本市北東部に広がる森林には、貴重な動植物が多く生息するなど**緑豊かな自然環境**が残されている。これら森林は本市ならではの**重要な景観資源**であるとともに、**名古屋東部丘陵の一角**を構成する**緑地**であることからも、積極的に維持・保全を図る。

⇒豊かな景観資源を最大限に活かし守り育む公園作り

⇒高齢者に対応した公園施設の導入

■第3次日進市生涯学習4Wプラン

【基本理念】

「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の4つのWを基本に学べるよう、日進市の生涯学習のあるべき姿を目指す。

【基本的な方針】

○各年代のニーズに対応した学習内容の提供

(例: **子育て**世代向け講座の充実、**高齢者**向け講座の充実等)

○学習の支援

(例: **子育て**世代への学習支援、障害者や**高齢者**への学習支援等)

○地域資源の活用

(例: **環境学習**の推進等)

【重点施策】

○市民の健康づくりに寄与する学習の充実・推進

(例: **健康づくり**に関するイベントの開催、スポーツ施設の充実等)

○エコ体験学習(環境学習)の推進

(例: **自然とのふれあい**や、実際の活動体験を通じた環境学習の推進)

⇒子どもから親世代、高齢者まで、
”だれでも”楽しく健康づくりを行えるような公園づくり

■日進市スポーツ振興基本計画

【基本的施策】

本市は、平均寿命が全国14位、愛知県では男女とも1位(H17年度調査)という**元気な高齢者**が多い。高齢者が気軽に**スポーツ**や**レクリエーション**を楽しめる機会を創ることはこれからの中高齢社会を充実させる上で欠かせない。高齢者や障害者にとって、**散歩・ウォーキング**などの軽運動は手軽で負荷も少なく、最適なスポーツである。

⇒健康長寿社会を目指し、高齢者がいつでも気軽に来園し、健康づくりを楽しめるような施設整備

<本公園の現状・問題点>

◎スポーツ広場

・水はけが悪く排水対策が急務。
⇒雨天翌日には、**快適に利用できない**。



◎キャンプ場

・利用者が少なく、年中利用できる施設になるとよい。
⇒四季を通じて利用できる施設にする必要がある。

◎屋外トイレ

・全て和式トイレでバリアフリー対応ができていない。
⇒**高齢者の利用に配慮**し、バリアフリー化する必要がある。

●再生整備コンセプト●

『自然豊かな環境で子どもと遊べる公園』
『高齢者の健康づくり』

●サブテーマ●

～四季を通じて市民が憩える場づくり～

<本公園への要望>

◎芝生広場

・グラウンドゴルフの練習場として利用したい。
⇒**高齢者の健康づくりとして身体を動かせる場がない**。

◎キャンプ場

・気軽に誰もが利用可能なBBQスペースとして開放してほしい。
⇒施設の老朽化等により、気軽に利用できない状況である。

◎中心広場

・誰もが気軽に立ち寄れる場所としての利用が望ましい。
⇒**子ども、親、高齢者誰もが利用しやすい整備**が必要である。

◎庭園

・水路との一体利用など、児童が遊べる場所にしてほしい。
⇒**子どもと遊べる空間**が待ち望まれている。

◎裏山散策道

・トレーニングができるような散策道の整備
⇒散策しながら**健康づくり**ができるような施設がない。

◎ジョギングコース

・クッショングラウンドのコースにしてほしい。
⇒**子ども、高齢者が転倒しても怪我しない舗装整備**が必要。

3-2 再生整備の基本条件

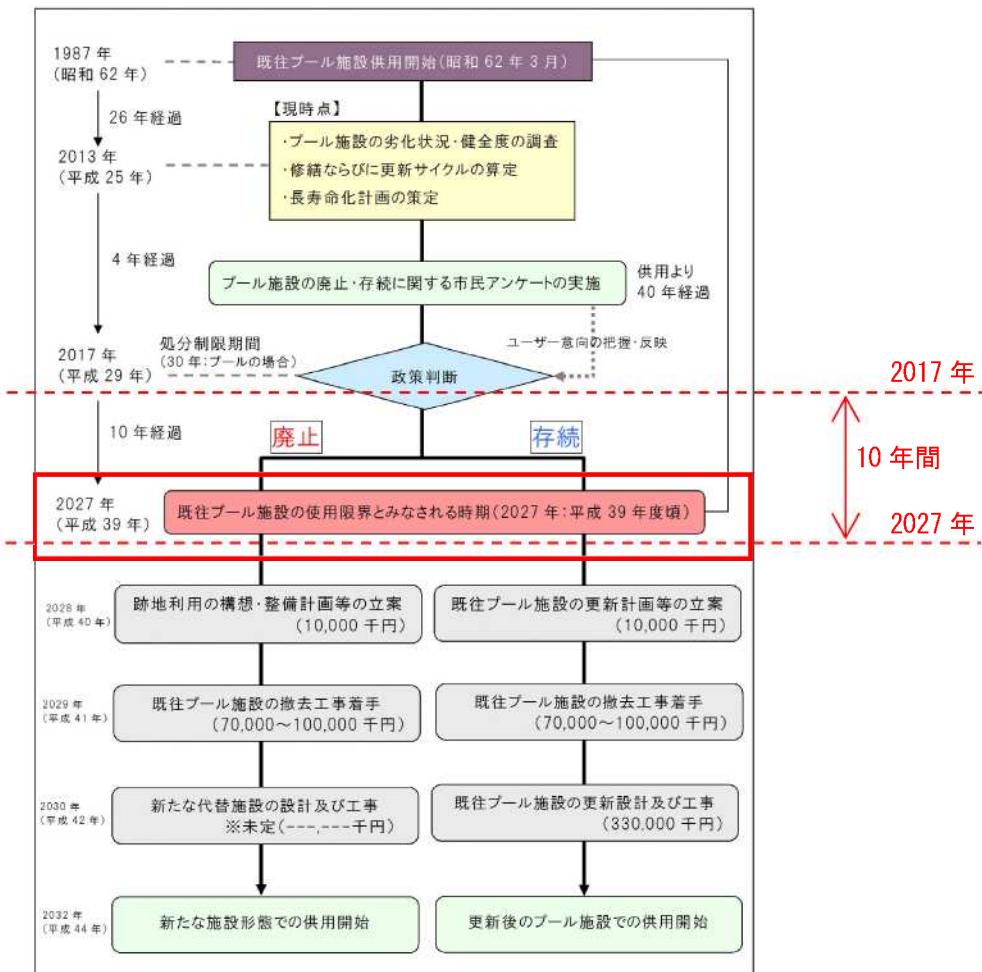
前頁で設定した再生整備コンセプトのもとで、本公園の従来の特徴を活かしつつ、より効率よく再生整備を行っていくため、以下の基本条件を設定した。

- 本再生計画では、極力既存施設を有効活用し、園路の形状は保持したまま、大規模な土地・地形の改変は行わない。
- 本再生計画では、概ね5年程度で実現可能な短・中期施策を策定するものとする。
- 以下の施設については、当面現形状を維持する方向性で整備を進めるが、本来の機能を回復させるために積極的なリニューアル【修繕・補修】を実施し、より良い利用環境の創出を図っていく。



- 10年後以降の改修計画施設（プール・管理棟）については、今回の再生整備対象外とする。

なお、プールに関しては、平成25年度「日進市総合運動公園プール長寿命化計画策定業務」の中で作成した以下のフロー図に従い、“既往プール施設の使用限界とみなされる時期（2027年：平成39年度頃）”以降のリニューアルを予定しているため、今回の再生整備計画には該当しないものとする。



■出典：「日進市総合運動公園プール長寿命化計画策定業務」報告書より抜粋

3-3 再生整備方針

3-3-1 各施設の再生整備方針

前頁までの再生整備コンセプト及び再生整備の基本条件のもとで策定した各施設の再生整備方針を次頁以降に示す。

なお、再生整備方針と再生整備コンセプトの関係性については、下記のように表記する。

■再生整備方針と再生整備コンセプトの関係性の表記方法

○再生整備コンセプト『自然豊かな環境で子どもと遊べる公園』に合致する場合

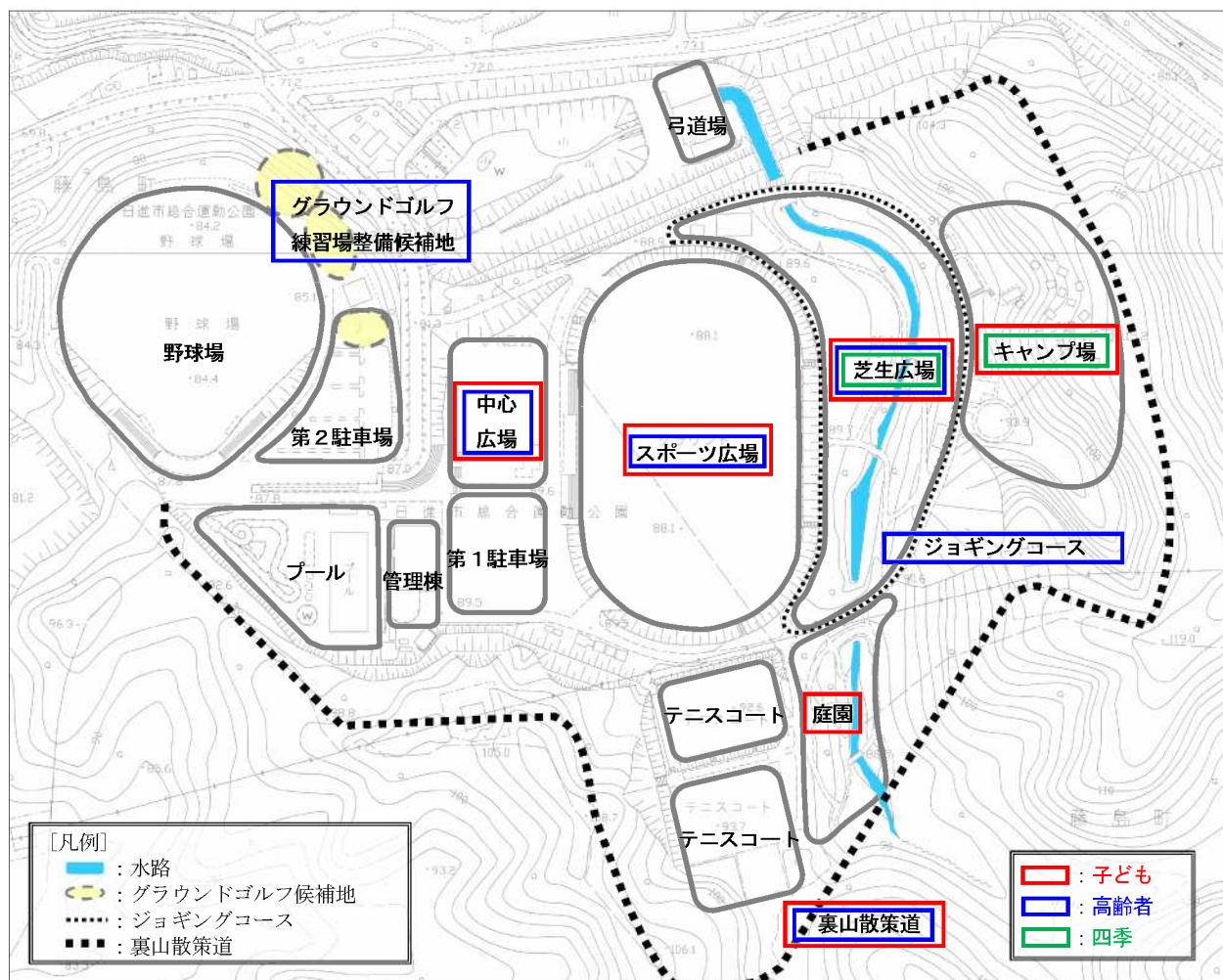
【子ども・高齢者・四季】

○再生整備コンセプト『高齢者の健康づくり』に合致する場合

【子ども・高齢者】

○サブテーマ『四季を通じて市民が憩える場づくり』に合致する場合

【子ども・高齢者・四季】



(1) スポーツ広場

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・冬季に稼働率が下がる。
- ・水はけが悪く排水対策が急務である。



雨天翌日の状況

<要望>

- ・陸上競技化してほしい。
- ・全天候型トラックや人工芝化する。



スポーツ広場全景

② 再生に向けての素案

【排水対策による機能回復】

- ・土壤改良（表土入替、排水性向上）
- ・トラックのポイント埋め込み
- ・陸上競技場化は費用が高額になる^{※1}点に加え、他の種目やイベント利用ができないことを考慮して実施しない。

③ 庁内各部局の意見及び対応

【施設整備について】

- ・半分だけでも芝生化してほしい。
⇒大会やスポーツイベント等の利用が制限されるため、現状の土舗装のままとする。

【施設整備について】

- ・ナイター照明（LED 照明）設置してほしい。
⇒今後の課題としてナイター照明の設置を検討していく。

④ 再生整備方針

【子ども・高齢者・四季】

【排水対策工事】

- ・表土の入替え等による排水対策を講じる^{※2}。
- ・施設稼働率の向上を図り、幅広い世代のスポーツ利用促進に寄与する。

(2) 中心広場

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・スポーツ広場との間の側道の安全対策が必要である。
- ・芝生のマウンドは、美しく管理されており本公園の景観の1つとなっている。

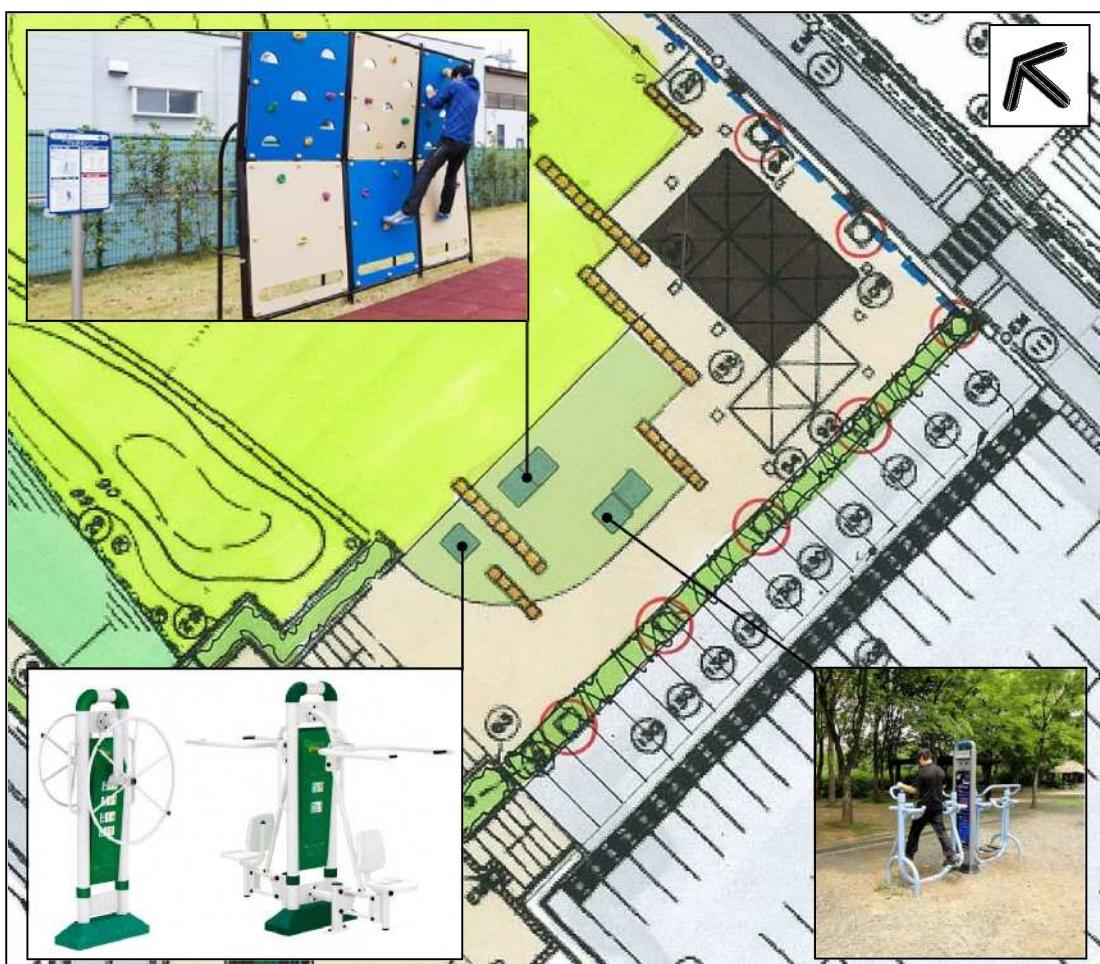
<要望>

- ・グラウンドゴルフの練習場として芝生コースを2~3コース整備して欲しい。
- ・一定の種目に偏ることなく、誰もが気軽に立ち寄れる場所としての利用が望ましい。

② 再生に向けての素案

【桜の新名所づくり・子どもや高齢者が安心して体を動かせるエリアへの再生】

- ・桜の散歩コースを整備（休憩スペース等）
- ・子ども用遊具（ターザンロープ等）の設置、飛び出し防止柵の設置
- ・幅広い年代が利用できる本格的な健康遊具の導入



※健康遊具の写真はイメージである。

■健康遊具配置イメージ図

③ 庁内各部局の意見及び対応

【遊具について】

- ・現行の中心広場に、接道への飛び出し防止策を講じる程度の整備でよいと考える。
- ・市内の学校では、維持管理費用縮減の考えから複合遊具を無くしていく方針であるため、総合運動公園でも同様のスタンスで整備を進めるべきである。
- ・遊具設置に必要な安全領域を考えると、大規模な複合遊具の設置は困難である。

【健康器具について】

- ・中心広場は、広大な芝生広場をメインとしており、ランニングコストのかかる健康遊具は必要ないものと考えられる。
- ・工夫してあるものが集積している、他とは違う穴場になると良いと考える。

【日陰空間について】

- ・通常の公園では、休憩スペースとして、ベンチやシェルター（屋根による日陰空間）等が求められている。



④ 再生整備方針

【子ども・高齢者・四季】

【安全対策】

- ・芝生広場外周動線の確保、低木植栽帯の設置、広場空間の確保



【フィットネスエリアの設置】

- ・人工芝、シェルター（日陰空間）の設置



シェルターのイメージ

(3) 芝生広場

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・傾斜がきつく、樹木等の障害物もあり
競技向けのスペースではない。
- ・桜並木が整備されている。

<要望>

- ・グラウンドゴルフのコース整備。
- ・自然豊かな公園環境の充実。



② 再生に向けての素案

【桜の新名所づくり・子どもや高齢者が安心して体を動かせるエリアへの再生】

- ・桜の散歩コースを整備（休憩スペース等）
- ・新設を予定するランニングコース沿いに健康器具等を設置
- ・子ども用遊具（ターザンロープ等）の設置、飛び出し防止柵の設置



③ 庁内各部局の意見及び対応

- ・芝生広場は現在もレジャーシートを敷く姿が見られるので、必ずしも大規模な再生整備が必要ではないと考える。
⇒現在の芝生広場を極力生かしつつ、新たに桜の品種を植栽することで、桜の名所的な空間として整備を図る。
- ・遊具がない広いスペースでかつ芝生化されている場所は市内にごく少数しかないため、この魅力はそのままの方が良いと思う。
- ・芝生広場のランニングコース脇の健康器具は、『健康』というキーワードから設置が望ましいと考える。
- ・デイキャンプ場との施設の住み分け、デイキャンプ場の一部としての利用の可否についても今後の検討が必要と考える。
- ・市内の学校では、維持管理費用縮減の考えから複合遊具を無くしていく方針であるため、総合運動公園でも同様のスタンスで整備を進めるべきである。



④ 再生整備方針

【子ども・高齢者・四季】

【桜の名所空間整備】

- ・新たに桜の品種を植栽し、年間を通じて桜を楽しめる空間の創出



【ジョギングコース沿いへの健康器具設置】

- ・ジョギングコース沿いに健康器具を配置
⇒コースの魅力アップ



⑤ 桜の配置イメージ図

■ゾーンA【河津桜・枝垂桜】



河津桜

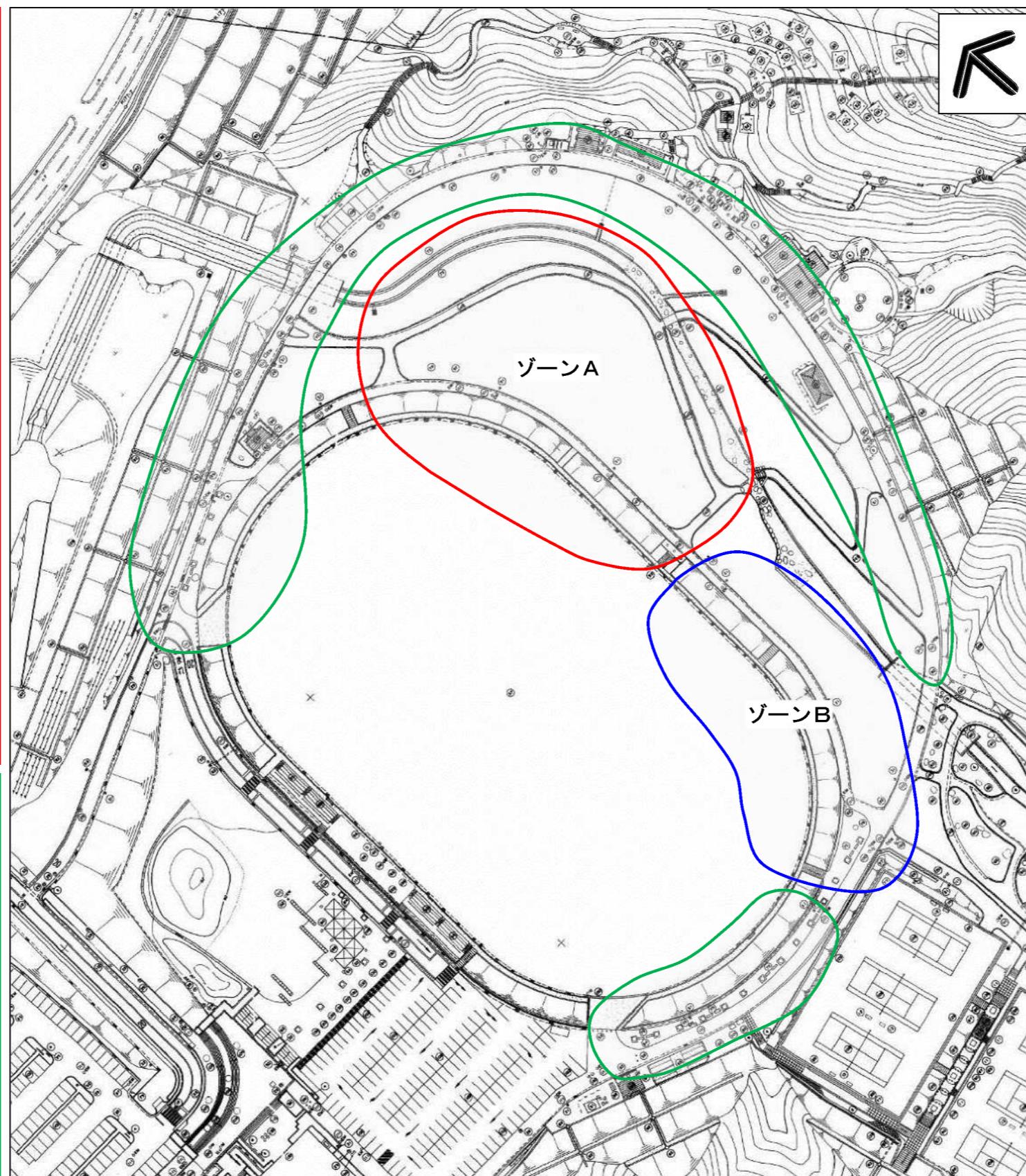


枝垂桜

■ゾーンその他【染井吉野】



染井吉野



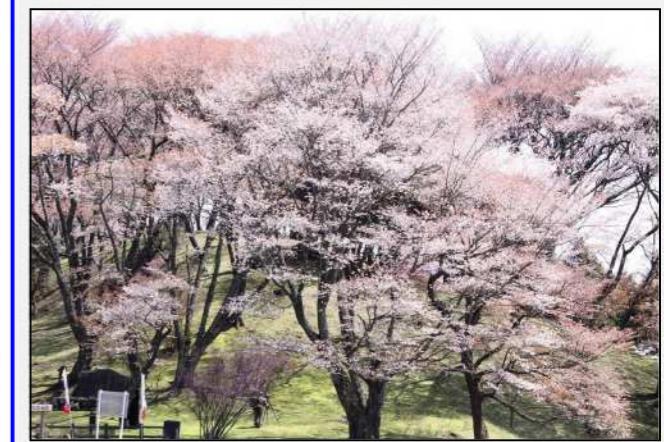
■ゾーンB【里桜・四季桜（十月桜）・山桜】



里桜



四季桜（十月桜）



山桜

(4) キャンプ場

① 現況整理

<現状・問題点>	<要望>
<ul style="list-style-type: none">・年中利用できる施設ではない。・利用が限られているため、利用者が少ない状況である。	<ul style="list-style-type: none">・キャンプ場施設の存続を希望。・テントの買い替え。・受益者負担のもとで有料化を図る。・気軽に誰もが利用可能な BBQ スペースとして開放し、利用向上を図る。



② 再生に向けての素案

【施設の改修・新設によりデイキャンプ場の再生】

- ・トイレ改修
- ・デイキャンプ場に石釜の新設、炉の改修、レイアウト変更等により「魅力のあるデイキャンプ場」に再生する。



③ 庁内各部局の意見及び対応

【デイキャンプ場のあり方】

- ・市内の公園では BBQ を禁止しており、BBQ サイトは要望が高いと思う。個別の焼き場を作り、市民が気軽に利用できるような施設にしてはどうか。
- ⇒既設のキャンプファイヤー広場等は BBQ コンロの持ち込みによるデイキャンプ場として一般に開放する。また、炊事棟は老朽化が目立つため、適切な維持管理を図りつつ、石釜等の新たな施設を配置し、魅力向上を図る。
- ・テントサイトにおける BBQ 利用については、尾張農林水産事務所に一度確認を行っており※³、一度検討、確認をさせて欲しい旨の返答を受けたが、正式な回答はもらえていない。
- ・指定管理者から、「秋、冬の時期は保安林内で枯れ葉が多く見られ、強風も吹き荒れるため火気使用は非常に危険である」との意見を頂き、テントサイトの BBQ 利用は断念した。

【駐車場について】

- ・利用者の駐車場を近くに整備すると良いと思う。
- ⇒車両をキャンプ場付近まで通すと、事故が発生する危険性が高まるため、現在の支援センター東側に整備されている既設の駐車場の拡幅を検討する。

【遊具について】

- ・ツリーハウス、アスレチックはとても魅力的だが、メンテナンスが大変である。地形、規模を生かしたアスレチック（木製）等、住宅地の公園には無いものを整備したい。欲を言えば、何か県内一の目玉となるような遊具があると良いのではないか。
- ⇒維持管理に費用がかかるとともに、地形が急傾斜地であるため、利用者の安全性の確保という観点からも、遊具の設置は行わない。
- ・保安林に指定されており、むやみに木を伐採する事ができないため、遊具の設置が困難ではないかと考える。

【テントサイトについて】

- ・テントは持ち込み、有料貸出としてはどうか。またはテントの数を減らしてテント+α のスペースを創ると良い。
- ⇒既存のテントは撤去しデッキはそのまま残す。デッキ上には常設のものは設置せず、個人で持ち込んだテントを張ったり、散策途中の休憩空間としてベンチを置いたり、クラフト工作教室の場とする等、様々な利用が可能な形態へとリニューアルする。

※ 3 : 尾張農林水産事務所との打合せメモを次頁に添付する。



打合せメモ

内 容:総合運動公園内キャンプ場及び散策路における保安林の取扱い・利用規制等についての打ち合わせ

日 時:平成28年11月8日(火)10時00分～11時15分

場 所:尾張農林水産事務所林務課

出席者:尾張農林水産事務所林務課:高嶋主査、福知主査
日進市生涯学習課:大川課長補佐、伊戸川

総合運動公園内キャンプ場及び散策路における保安林の取扱い・利用規制等についての打ち合わせを行った。

(打合せ内容)

- ・総合運動公園整備の経緯、キャンプ場・散策路の成立ちを説明。・キャンプ場をデイキャンプ場とし火気を使用すること、及び散策路にウッドチップを撒きトレイルランニングコース化することが可能かの確認を行うことが打合せ主旨であるとの説明を行う。

以下、尾張農林林務課の回答。

- ・総合運動公園内で保安林解除していない部分については土砂流出防備保安林と保健保安林の両方が指定されている「兼保」という状態である。
- ・既存のテントサイト、バンガロー、散策路等については本来、保安林内作業許可を申請し2年毎に更新していく必要があるため、正規の手続きをお願いしたい。
- ・キャンプ場における火気の使用については県本庁及び林野庁(国)に確認を行う必要があり、しばらく時間を頂きたい。
- ・散策路については森林管理用の歩道という位置付けであり、トレイルランニングコース化については大きな障壁はないものと想定される。
- ・いづれの計画ももう少し具体化してから相談及び申請・許可というながれになるが、個別に計画段階で相談があれば受け付ける。よろしくお願ひしたい。



④ 再生整備方針

【子ども・高齢者・四季】

【ディキャンプ場整備】

- ・キャンプファイヤー場、その他休憩施設をディキャンプ場として一般に開放



現在の状況（ディキャンプ場）



現在の状況（休憩施設）

【トイレの改修（バリアフリー化）】

- ・老朽化施設、設備のリニューアル、施設内容の充実



現在の状況

【テントサイトの自由空間化】

- ・常設テントを撤去し、休憩空間や宿泊エリア等の様々な利用が可能な形態へリニューアル、各種自然教室の体験場所、散策路利用者の休憩スペース、Wi-Fi 環境の充実によるモバイルオフィスとしての活用、四季折々の木々の変化を楽しむ場、マイナスイオンを一杯に浴びながら、お弁当を拝げる自然環境スペース



現在の状況⇒テントを撤去、デッキを残す



イメージ



イメージ



イメージ

⑤ キャンプ場配置図



(5) 庭園

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・公園内の最も奥まった施設であり、認知度が低い。
- ・車椅子や障がい者も利用できるような整備が行われていない。

<要望>

- ・水路との一体整備による子どもの水遊び場整備。
- ・車椅子や障がい者も気軽に散策可能なバリアフリーな施設に整備して欲しい。

② 再生に向けての素案

【自然と触れ合え、水遊びができるような水景施設への再生】

- ・水路との一体利用（ジャブジャブ池）、めだかの放流など自然との触れ合い。
- ・健康遊具、子ども遊具、ベンチの設置。

③ 庁内各部局の意見及び対応

【導入施設について】

- ・子どもが着替えられる囲い、手洗い場は必要。四阿は充実したほうが良い。

【配置に関する問題について】

- ・庭園と散策道とキャンプ場が一体的に利用できるとよい。
- ・公園内でも奥のほうにある施設なため、認知度が低く、市民へ周知する必要がある。
⇒公園案内サイン等の見直しを行い、利用者の認知度を高める。

【維持管理について】

- ・水景施設は、除草管理及びジャブジャブ池コーナーの水質管理等が必要となり、利用マナーの点から設置後の維持管理が大変であると考える。

【自然環境について】

- ・大清水湿地が隣接するので、自然観察会等の意見も取り入れてもらいたい。
⇒大清水湿地等の既存の自然環境には影響を与えないように充分に注意し再生を図る。
⇒子供の水遊びスペースと既存の自然環境との住み分けが今後の課題となる。

④ 再生整備方針

【子ども・高齢者・四季】

【ジャブジャブ池コーナー整備】

- ・夏季の魅力スポットとして、散策道、キャンプ場との一体的な連絡により利用を促す。



イメージ



イメージ

【休憩施設整備・多目的トイレの設置】

- ・休憩施設としての四阿、ベンチ、多目的（バリアフリー）トイレの整備
- ・安全安心に配慮し、防犯カメラ、通報装置を設置

(6) 散策路

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・認知度が低く、あまり活用されていない。
- ・案内看板等もなく、コースも不明確。
- ・公園周囲の山林は保安林指定されているため、大規模な伐採ができない。
- ・保安林内の森林管理用の歩道という位置付けの散策道であるため、既設散策道の拡幅はできない。

<要望>

- ・トレーニングできるような散策道の整備
- ・山道を整備し、2人並べる若しくは軽トラ1台が走行できる幅を確保し、クロスカントリーコースとして整備。

② 再生に向けての素案

【自然を感じながらトレーニングを行える散策道へと再生】

- ・トレイルランニング化。
- ・既設路を利用したコース整備と看板設置。
- ・散策路ルートマップの作成（季節の見どころ）。

③ 庁内各部局の意見及び対応

- ・利用者の安全に配慮してトレイルランニング用のエリアと散策道用のエリアを分割する必要性があると考える。
- ・コースの途中でエスケープルートを多く配する必要があると思う。
⇒トレイルランニングコースへの出入口は複数設置する。
- ・庭園と散策道とキャンプ場が一体的に利用できるとよい。
⇒これら施設は一体的に利用し、相互の利用促進を図る。散策ルート（ランニングルート）や見どころなどを表示した案内サインを設置し、利用者の導入を図る。

④ 再生整備方針

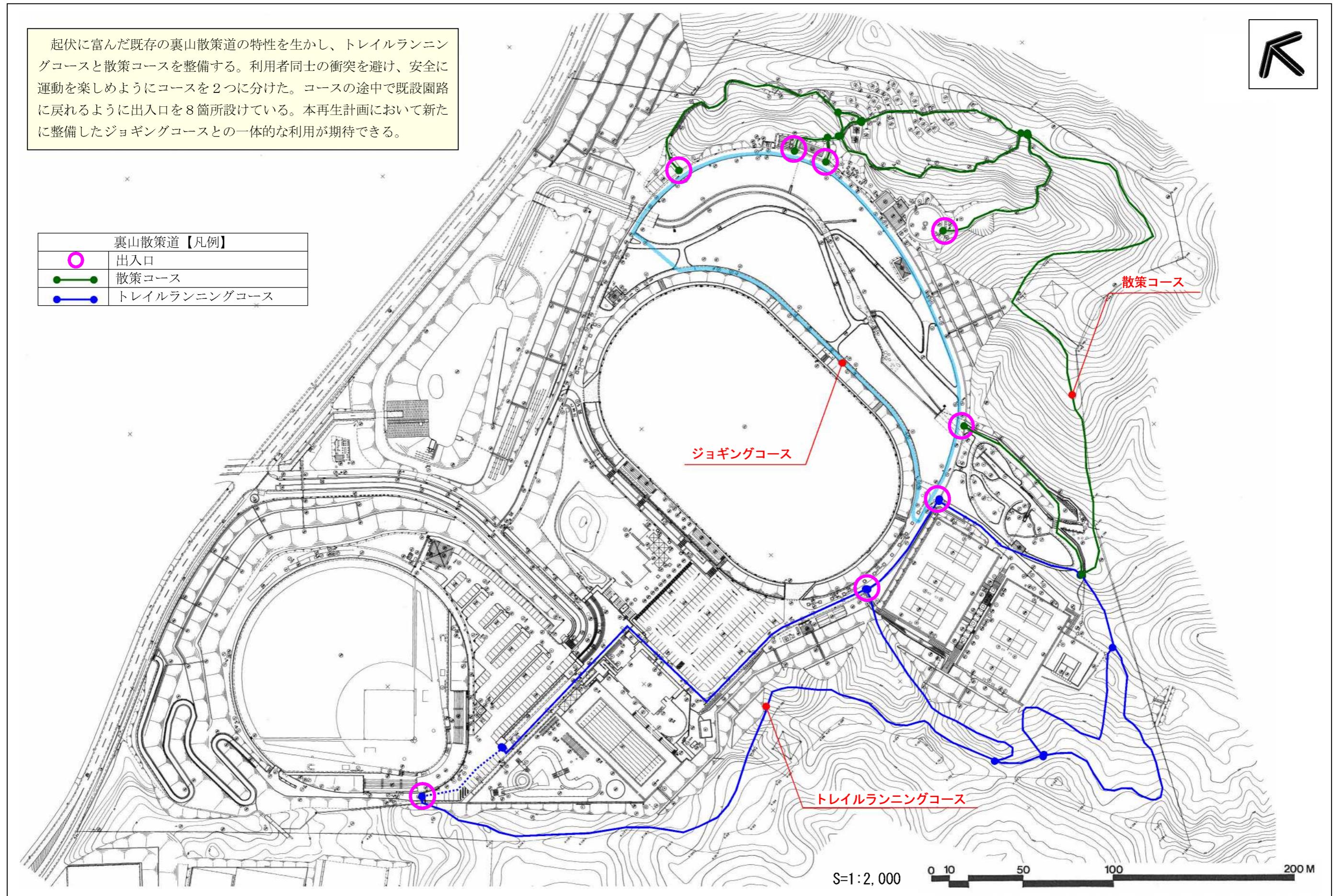
【子ども・高齢者・四季】

【トレイルランニングコース設置・散策路の整備】

- ・クロスカントリーコース整備、案内サイン設置、休憩施設等整備



⑤ トレイルランニングコースルート図



⑥ 愛知県内のクロスカントリーコース事例

日進市と同じ愛知県内に整備されているクロスカントリーコースの事例を以下に整理する。

1. 加木屋緑地

加木屋緑地のクロスカントリーコースは 400m～500m のコースが 3 コース、2.5km のコースが 1 コースある。舗装面は木チップが敷いてあるため、足腰にやさしいコースになっている。また、最大高低差が約 30m あり、初心者から上級者まで多くの方に楽しめている。以下にコースマップと現地写真を示す。



2. 大高緑地

大高緑地のクロスカントリーコースは、アップダウンの変化に富んだ中級者から上級者向けのコースとなっている。以下にコースマップと現地写真を示す。



(7) ジョギングコース

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・スポーツ広場を多目的施設とするため、安全性を考慮しつつジョギングやウォーキングを楽しむ施設がない。

<要望>

- ・ジョギングコースの新設を望む。

② 再生に向けての素案

【健康づくりのためのジョギングコースの新設】

- ・芝生広場を周遊する全長 600m のジョギングコースの設置
- ・既設路を利用したコース整備と距離表示

③ 庁内各部局の意見及び対応

- ・急カーブのあるコースを走ると意外と疲れるし、方向を決めておかないとランナー同士ぶつかる危険も考えられる。
⇒ランナー同士や公園利用者の交錯が起こらないように、走る方向は一定とする。
- ・社会人は夜間利用が主となると思われ、照明設備の確保。
⇒照明施設は、今後の課題として設置を検討する。
- ・トレイルランニングコースと一緒に走れると楽しいと思う。

④ 再生整備方針

【子ども・高齢者・四季】

【ジョギングコース新設】

- ・600m ゴムチップ舗装ジョギングコース整備



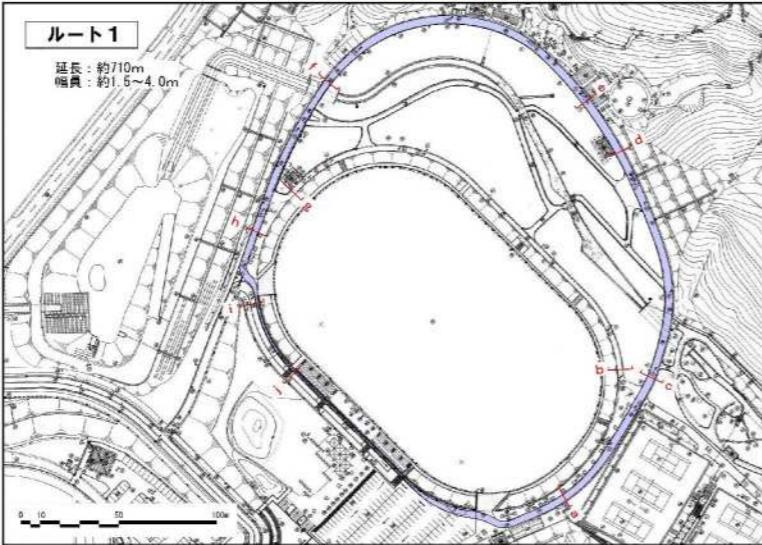
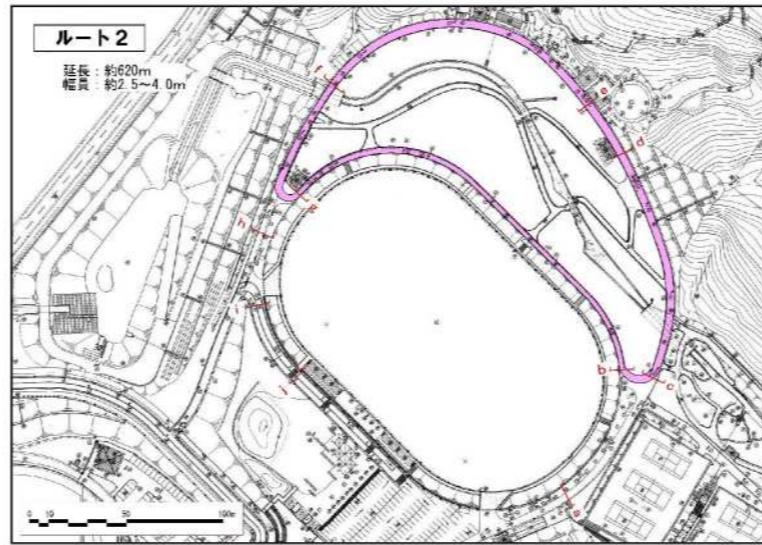
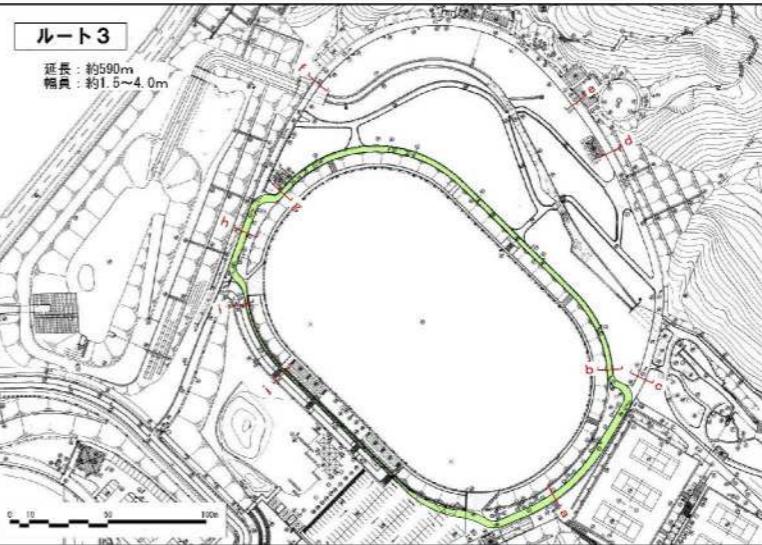
ゴムチップ舗装



イメージ

参考として、次頁以降に『日進市総合運動公園改修工事調査業務（平成 23 年 3 月）』にて作成されたジョギングコース比較表及び主要図面を示す。

■コース比較表

コース	コース1	コース2	コース3
平面図	 <p>ルート1 延長：約710m 幅員：約1.5~4.0m</p>	 <p>ルート2 延長：約620m 幅員：約2.5~4.0m</p>	 <p>ルート3 延長：約590m 幅員：約1.5~4.0m</p>
概要	<p>コース延長：約710m (cad上の延長714.9m) コース幅員：約1.5~4.0m</p>	<p>コース延長：約620m (cad上の延長622.5m) コース幅員：約2.5~4.0m</p>	<p>コース延長：約590m (cad上の延長586.4m) コース幅員：約1.5~4.0m</p>
長所	<ul style="list-style-type: none"> コース延長が最も長い。 変化のあるコース景観を楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全線が既設歩道利用となるため、車道と近接する箇所がなく、安全に走ることができる。 全線に渡って幅員を広く確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場の外周に沿って一周する設定となり、コースがわかりやすい。
短所	<ul style="list-style-type: none"> 公園進入路と重なる陸上競技場西側では車道と隣接し、幅員も狭くなるため、視線誘導標などによる歩車道分離を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> コースラインをスムーズにするため、既設縁石の部分的な再整備が2箇所必要となる。 南北のコーナー部は鋭角に曲がるルートとなるため、既存縁石の改修が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> コース延長が最も短い。 公園進入路と重なる陸上競技場西側では車道と隣接し、幅員も狭くなるため、視線誘導標などによる歩車道分離を行う必要がある。
備考	<ul style="list-style-type: none"> 舗装面積：2,400 m² アスファルト舗装（表層切削オーバーレイ）3,600円/m² → 8,640,000円 脱色アスファルト舗装（表層切削オーバーレイ）6,900円/m² → 16,560,000円 塗布式舗装1,800円/m² → 4,320,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 舗装面積：2,100 m² アスファルト舗装（表層切削オーバーレイ）3,600円/m² → 7,560,000円 脱色アスファルト舗装（表層切削オーバーレイ）6,900円/m² → 14,490,000円 塗布式舗装1,800円/m² → 3,780,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 舗装面積：2,000 m² アスファルト舗装（表層切削オーバーレイ）3,600円/m² → 7,200,000円 脱色アスファルト舗装（表層切削オーバーレイ）6,900円/m² → 13,800,000円 塗布式舗装1,800円/m² → 3,600,000円

出典：日進市総合運動公園改修工事調査業務（平成23年3月）

(8) 屋外トイレ

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・全て和式でバリアフリー対応でない。

<要望>

- ・洋式化、ユニバーサルデザイン化。



② 再生整備方針

【子ども・**高齢者**・四季】

【屋外トイレの改修・バリアフリー化】

- ・屋外4箇所のトイレをあらゆる人が快適に利用できるように、バリアフリー化、洋式化を図る。
- ・木造、コンクリートブロック造については取壊し、構造から建て直す必要がある。



既設トイレ（多目的スポーツ広場前）



既設トイレ（野球場前）



既設トイレ（テニスコート前）



再生整備後の内観イメージ

(9) 駐車場

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・プールが開館する休日や、大規模大会開催時には駐車場不足が発生する。
- ・駐車場用地不足のため増設できない。

<要望>

- ・駐車場不足の解消。

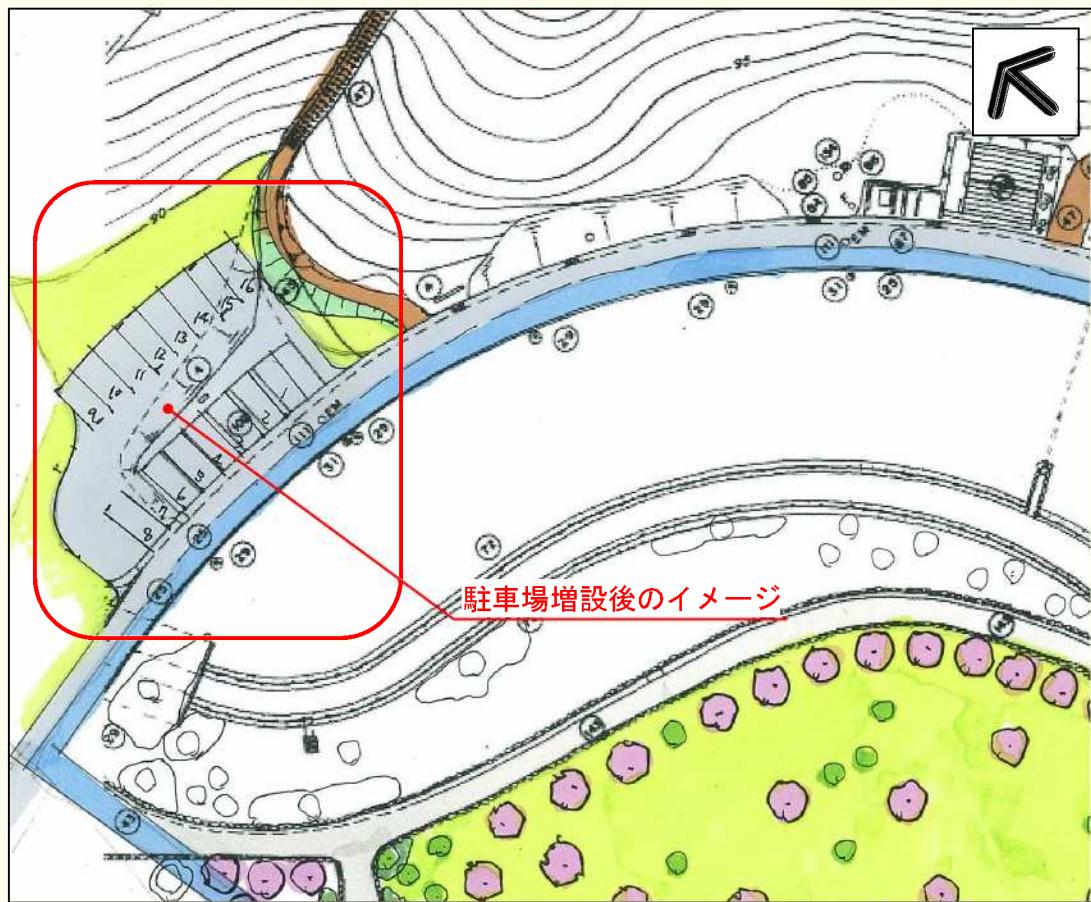
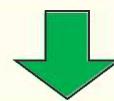


② 再生整備方針

【子ども・高齢者・四季】

【教育支援センター北の駐車場増設】

- ・駐車場利用可能地での増設、安心安全に配慮した防犯カメラ、通報装置の設置



(10) 多目的芝生広場（グラウンドゴルフ・マレットゴルフコース）

① 現況整理

<現状・問題点>

- ・高齢者の健康づくりの機会創出として
の多目的芝生広場が必要。

<要望>

- ・グラウンドゴルフ芝生練習コースの新設を望む。



② 再生整備方針

【子ども・**高齢者**・四季】

【多目的芝生広場（グラウンドゴルフ・マレットゴルフコース）新設】

- ・誰でも使用可能な天然芝の多目的広場整備
- ・安心安全に配慮した防犯カメラ、通報装置の設置
- ・日当たりの良し悪しによる芝の定着が課題であるが、
人工芝を採用する場合は費用面が課題となる。



現在の状況



現在の状況



イメージ

3-3-2 再生整備計画案一覧

総合運動公園再生整備計画 計画案メニュー

【再生整備コンセプト】・自然豊かな環境で子どもと遊べる公園
・高齢者の健康づくり

【副題】四季を通じて市民が憩える場づくり

施設名	現状・問題点	過去の要望・ヒアリング・意見	再生整備コンセプト		日常的維持管理、修繕・補修による対応	長期的対応	再生対策方針	計画案
			自然豊かな環境で子どもと遊べる公園	高齢者の健康づくり				
有料施設	A. スポーツ広場	・冬季に稼働率が下がる。 ・水はけが悪く排水対策が急務。	・陸上競技場化。(外周トラックを整備) ・全天候型トラック、フィールド内人工芝化。	●	●		排水対策による機能回復 ・陸上競技場化は他の種目やイベント利用ができなくなることを考慮して実施しない。 ・雨天時、雨天翌日の水はけ改善により適切な施設運営。施設稼働率の向上を図り、幅広い世代のスポーツ利用促進に寄与する。	A-1:排水対策工事
	野球場	・冬季に稼働率が下がる。	・ブルペン整備、照明支柱・バックスクリーンの塗装、三塁側ネット嵩上げ等の維持修繕要望多數。	-	-	○	-	維持管理、修繕・補修による対応 照明施設のLED化
	テニスコート	・利用者数が多く市内の他施設と比較しても多い。 ・ハードコート舗装の剥離、クラック等が多数見られる。	・修繕・清掃等をしっかりして欲しい。 ・備品をしっかりと揃えて欲しい。 ・ハードコートの修繕。 ・ハードコートのオムニコート化。	-	-	○	・積極的にリニューアル(修繕・補修)を実施し本来の機能を回復するとともに、より良い利用環境の創出を図る。	維持管理、修繕・補修による対応 照明施設のLED化
	弓道場	・弓道場は市内に同様の施設がない、本公園特有の施設である。	・老朽化対策、観覧席設置。 ・高齢者割引、定期券導入。	-	-	○	-	維持管理、修繕・補修による対応
	プール	・夏季のみの営業だが全施設の中で最も利用者数が多い。 ・施設が老朽化しており、毎年の維持管理費も大きい。	・今後ともなくさないで欲しい。 ・維持管理費等を考えると、他施設と比較して施設の規模縮小等も含めて、廃止していくことも視野に入れては。	-	-	○	○	当面10年間は維持管理、修繕修繕 長期的な存続・廃止議論が課題 【プール長寿命化計画】
無料施設	B. 中心広場	・スポーツ広場との間の通路の安全対策が必要。	・グランドゴルフの練習場として芝生コースを2~3コース整備して欲しい。 ・一定の種目に偏ることなく、誰もが気軽に立ち寄れる場所としての利用が望ましい。	●	●		桜の新名所づくり・子どもや高齢者が安心して体を動かせるエリアへの再生 ・市内に少数しかない広い芝生空間の魅力を活かしつつ、多世代が楽しめる施設配置を行い、本公園の魅力施設とする。	B-1:安全対策 (芝生広場外周動線・低木植栽帯の設置、広場空間の確保) B-2:フィットネスエリアの設置 (人工芝、シェルター(日陰空間)の設置)
	C. 芝生広場	・傾斜がきつく樹木等の障害物もあり協議向けのスペースではない。 ・芝生広場には桜並木が整備されている。	・グランドゴルフのコース整備。 ・自然豊かな公園環境の充実。	●	●			C-1:サクラの名所空間整備 (新たにサクラの品種を植栽、年間を通じてサクラを楽しめる空間を創出) C-2:ジョギングコース沿いへの健康器具設置 (ジョギングコース沿いに健康器具を配置、コースの魅力アップ)
	D. キャンプ場	・年中利用できる施設ではない。 ・利用が限られているため、利用者が少ない状況。	・キャンプ場施設の存続を希望。 ・テントの買い替え。 ・受益者負担のもとで有料化を図る。 ・気軽に誰もが利用可能なバーベキュースペースとして開放して利用向上を図って欲しい。	●			施設の改修・新設によりデイキャンプ場の再生 ・デイキャンプ場として施設・設備のリニューアル整備を行いバーベキューを楽しんでもらうとともに、ジャグジアプ池、散策道と一緒に連絡する構造することで施設の魅力を高める。	D-1:デイキャンプ場整備 (キャンプファイヤー場、その他休憩施設をデイキャンプ場として一般に開放) D-2:トイレの改修・バリアフリー化 (老朽化施設・設備のリニューアル、施設内用の充実)
	E. 庭園	・公園内の最も奥まった施設であり、認知度が低い。 ・車椅子や障がい者も利用できるような整備が行われていない。	・水路との一体整備による子どもの水遊び場整備。 ・車椅子や障がい者も気軽に散策可能なバリアフリーな施設に整備して欲しい。	●			自然と触れ合え、水遊びができるような水景施設への再生 ・庭園脇の水路を活用し夏季に子どもが水遊びする空間を整備し、裏山散策道・デイキャンプ場と一緒に連絡する構造することで施設の魅力を高める。	E-1:ジャグジアプ池コーナー整備 (夏季の魅力スポットとして、散策道・キャンプ場との一体的な連絡により利用を促す) E-2:休憩施設整備・多目的トイレの設置 (子どもの着替え、休憩施設としての東屋、ベンチ等、バリアフリートイレの整備) (安心・安全に配慮した防犯カメラ、通報装置の設置)
	F. 散策路	・公園利用の中でも認知度が低く、あまり活用されていない施設。 ・案内看板等もなく、コースも不明確。 ・公園周囲の山林は保安林指定されているため、大規模に木々を伐採することができない。	・トレーニングができるような散策道の整備。山道を整備し、二人並べるくらいは軽く1台が走行できる幅を確保し、クロスカントリーコースとして整備。	●	●		自然を感じながら健康増進・学習を行える散策道へと再生 ・豊かな自然環境を感じながらトレーニングを行い健康増進を図り、かつ里山の散策・観賞を通して学習できるような場を整備する。	F-1:トレーラーランニングコース設置 (クロスカントリーコース整備、案内サイン設置) F-2:散策路の整備 (案内サイン設置、休憩施設等整備)
新規施設	G. 屋外トイレ	・全て和式トイレでバリアフリー対応ができていない。	・トイレの洋式化、ユニバーサルデザイン化要望多數。	●	●		あらゆる人が快適に利用できる環境整備 ・屋外4箇所のトイレが障がい者対応となっておらず、バリアフリー化・洋式化を図ることで快適な利用環境を整備する。	G-1:屋外トイレの改修・バリアフリー化
	H. 駐車場	・プール開催の夏休み休日や、大規模大会開催時に駐車場不足が発生する。 ・駐車場用地不足のため中々増設できない。	・駐車場不足の解消。				駐車場不足の緩和 ・夏休みの休日のプール利用や大会開催時の駐車場混雑を緩和させる。	H-1:教育支援センター北の駐車場増設 (駐車場利用可能地での増設)(安心安全に配慮した防犯カメラ、通報装置の設置)
	I. ジョギングコース	・スポーツ広場を多目的施設とするため、安全性等を考慮しつつ、ジョギング・ウォーキングを楽しむ施設がない。	・ジョギングコースの新設要望。		●		健康づくりのためのジョギングコースの新設 ・全長600mのゴムチップ舗装のジョギングコースを整備し、健康増進のためのジョギングやウォーキングを促進する。	I-1:ジョギングコース新設 (600mゴムチップ舗装ジョギングコース整備)
新規施設	J. 多目的芝生広場 (グランドゴルフ・マレットゴルフコース)	・高齢者の健康づくりの機会創出としての多目的芝生広場(グランドゴルフ、マレットゴルフコース)が必要。 ・既存広場は各々の使用用途から適地ではない。	・グランドゴルフ芝生練習コース新設要望。		●		高齢者の運動参加へのきっかけづくりとして開放 ・手ぶらで来ても誰でも使用可能な多目的芝生広場整備を行い、運動機会増加の仕組みづくりを行う。	J-1:多目的芝生広場(グランドゴルフ・マレットゴルフコース)新設 (誰でも使用可能な天然芝の多目的広場整備) (安心安全に配慮した防犯カメラ、通報装置の設置)

3-3-3 再生整備方針図

